登録日

2022/12/27

レジメン名 BRE033

## 腫瘍名 乳がん

## |申請医師|乳腺外科

## 投与スケジュール

ステハノンエール									
PTX+CBDCA+Pembrolizumab						21日毎 × 4コース			
					1=-	ース		2コース	
					1	8	15	22 · · · (Day)	
	<b>- 四本上</b> 上	F0l	Jie žalo	<b>-</b> /\					
	生理食塩水 (プライミング用)	50 mL	点滴	227	1			<b>↓</b>	
	(フライミング 州)				•			•	
2	キイトルーダ	200 mg	点滴	30分	Ī			1	
	生理食塩水	100 mL			<b>↓</b>			•	
-	生理食塩水	50 mL	点滴	5分				<u> </u>	
	(キイトルーダ用フラッシュ)				•			•	
	デキサート	9.9 mg	占油	15分					
_	ァイッート パロノセトロン	9.9 mg 0.75 mg	从何	1073	1			<b>↓</b>	
	ポララミン	5 mg			·			•	
	ファモチジン	20 mg							
	生理食塩水	50 mL							
<b>⑤</b>	デキサート	6.6 mg	点滴	15分			I		
	ポララミン	5 mg				•	•		
	ファモチジン	20 mg							
:	生理食塩水	50 mL							
	パクリタキセル	80 mg∕ miื	点滴	6047				1	
_	ハシリダヤゼル 5%ブドウ糖液	80 mg/111 250 mL	从间	9033	1	1	T	T L	
1	ひねント・ノイオイス	250 ML			•	•	•		
(T):	カルボプラチン	AUC 5	点滴	60分	I				
_	5%ブドウ糖液	250 mL	***************************************		1			<b>↓</b>	
8	5%ブドウ糖液	50 mL	点滴	5分			I		
	(カルポプラチン用フラッシュ	.)			•	•	•	•	

# 汪怠事項

#### 【適応】

- ・乳癌周術期治療として、術前にPTX+CBDCA+Pembrolizumab、EC+Pembrolizumabが順に実施され、術後にPembrolizumabが実施される。
- ・ホルモン陰性、HER2陰性乳癌を対象とし、術前化学療法として実施する。

#### 【使用上の注意】

催吐中リスク

アプレピタント内服を投与(Day1:125mg, Day2~3:80mg)、Day2~3までデカドロン4mg/dayを投与

#### 【調製上及び使用上の注意】

- ・キイトルーダはインラインフィルター(0.2~5µm)を使用する。 同一の点滴ラインで他の薬剤を併用同時投与しないこと。
- ・パクリタキセルはインラインフィルター(0.22µm以下)を使用する。
- ・免疫チェックポイント阻害薬の運用フローを参照。

### 参考文献

- 1) N Engl J Med, 382, 810-821 (2020).
- 2) 乳がん診療ガイドライン2022年
- 3)キイトルーダ、パクリタキセル、カルボプラチン添付文書